

**SEHS Next Tide Workshop 2017**  
**社会経済史学会次世代研究者育成ワークショップ**  
**募集要項**

日時： 2017年09月17日(日)・18日(月・祝)

場所： 関西大学・千里山キャンパス・第2学舎第2号館6階・経済学部会議室

<http://www.kansai-u.ac.jp/global/guide/mapsenri.html>

**1, ワークショップの趣旨**

SEHS Next Tide Workshop は、若手研究者が研究対象とする地域や時代の枠を超えて議論・交流する機会を提供し、社会経済史学の将来を担う次世代の優れた研究者を育成することを目的とするものです。今年度も昨年同様に各報告や基調講演に対して積極的にディスカッションに参加して頂ける方を募集したいと存じます。

下記に記してありますように、企画委員会で選考した若手研究者 5 名の研究報告と基調講演のかたちで今年度も実施させていただきます。その若手研究者の報告を踏まえて積極的にディスカッションに参加して頂ける方を今回募集させていただきます。その上で応募して頂いた若手研究者の中から企画委員会の責任でコメンテーターと司会を選考させていただきます。御願ひする方には事務局あるいは企画委員から直接御連絡するように致します。

言うまでもなく、他の研究者の報告に対して的確にコメントや質問をすることは、自らの研究者としてのレベルアップを図るためには不可欠な能力です。今回のワークショップを通じて、他の報告者の研究内容をしっかりと把握し、自らの分析視角を駆使しながら評価する力を養成されることを企画委員会として強く期待しております。

加えて、若手研究者同士が相互に研究を通じて知り合うことで、今後の社会経済史学会を担う若手研究者の底上げを図ることも、このワークショップは意図しております。御自身の近隣の研究テーマにだけ関心を寄せるのではなく、他の分野の研究にも問題関心を広げ、互いに交流を繰り返すことで社会経済史学会に新たな風を吹き込んで頂ける端緒にこのワークショップがなれば幸いに存じます。

最後に改めて今年度の SEHS Next Tide Workshop に若手研究者の皆様の積極的な参加を心から御願ひ申し上げます。

## 2, 対象

基本的に大学院博士後期課程在籍者および PD・助教クラスの方。

## 3, 募集人数

20 名程度（応募者が多数の場合は企画委員会の方で選考させていただきます）

## 4, 提出書類

電子ファイルのかたちで提出して下さい。

書式 A) 氏名、住所、所属等

書式 B) 業績一覧

\* テーマに関する予備知識のない方も歓迎します。積極的に応募して下さい。

\* 上記の書式は社会経済史学会のホームページからダウンロードして下さい。

## 5, 書類提出先

社会経済史学会事務局 [sehs@kurenai.waseda.jp](mailto:sehs@kurenai.waseda.jp)

## 6, ワークショップの内容についての問い合わせ

社会経済史学会・企画委員

島田 竜登 [shimada@l.u-tokyo.ac.jp](mailto:shimada@l.u-tokyo.ac.jp)

西村 雄志 [tnishimu@kansai-u.ac.jp](mailto:tnishimu@kansai-u.ac.jp)

## 7, 提出期限

2017 年 7 月 18 日(火)必着（選考結果は 8 月中旬には御知らせします）

8, プログラム (敬称略。所属は2017年04月01日現在。)

【1日目】

13:00～13:15 NTWの趣旨説明 牛島 利明(企画委員会委員長・慶應義塾大学)

13:15～18:15 セッション1 研究成果発表1(外国経済史)

☆ 報告とコメントの後、参加者によるディスカッション。1人あたり90分を予定。

報告者1: 宗村 敦子(関西大学大学院経済学研究科・後期課程)

報告タイトル: 南アフリカの労働集約型工業化

—20世紀初頭の西ケープにおける農村工業と賃金経済の形成—

報告者2: 久野 愛(Harvard Business School・研究員)

報告タイトル: 米国食品産業と視覚マーケティング

—20世紀転換期における食品規制の強化と合成着色料の普及—

報告者3: 高津 智子(九州大学人文科学府・西洋史学研究室・専門研究員)

報告タイトル: 冷戦初期におけるアメリカのヨーロッパ共同市場構想

—国家・民間ネットワークの役割に着目して—

19:00～ 懇親会 (会費・場所等は未定)

【2日目】

09:00～12:15 セッション2 研究成果発表2(日本経済史)

☆ 報告とコメントの後、参加者によるディスカッション。1人あたり90分を予定。

報告者4: 三科 仁伸(慶應義塾大学非常勤講師)

報告タイトル: 近代日本における企業家と企業家集団

報告者5: 谷口 洋斗(慶應義塾大学大学院経済学研究科・後期課程)

報告タイトル: 戦時期北海道におけるパルプ工場建設と在来産業の対応

13:30～16:30 セッション3 基調講演

報告者: 川北 稔(大阪大学名誉教授)

報告タイトル: 未定

\* 各セッションの詳細・参考文献等は後日参加者に御連絡致します。

## 9, 参加費

交通費・宿泊費等、一切の補助は学会から支出されません。

## 10, その他

原則として両日とも出席して頂きます。

実行委員 島田竜登(東京大学)、西村雄志(関西大学)